

納税環境整備に関する専門家会合について

○ 第2回総会における議論を踏まえ、ウィズコロナ時代における税務手続の電子化や、グローバル化・デジタル化の進む経済社会における適正課税のあり方について、今後の総会における議論の素材を整理するため、専門家会合を設置する。

○ メンバーは以下の通りとし、座長（◎）が議事を整理する。

◎ 委員	岡村 忠生	京都大学法学系（大学院法学研究科）教授
委員	土居 丈朗	慶應義塾大学経済学部教授
委員	沼尾 波子	東洋大学国際学部教授
特別委員	石井 夏生利	中央大学国際情報学部教授
特別委員	梶川 融	太陽有限責任監査法人代表社員会長
特別委員	神津 信一	税理士
特別委員	田近 栄治	一橋大学名誉教授
特別委員	田中 常雅	醍醐ビル(株)代表取締役社長
特別委員	宮永 俊一	三菱重工業(株)取締役会長

※ 外部有識者

齋藤 誠	東京大学大学院法学政治学研究科教授
佐藤 英明	慶應義塾大学大学院法務研究科教授
澁 圭吾	神戸大学大学院法学研究科教授

○ 第1回会合は、10月 7日（水）に開催。

○ 第2回会合は、10月16日（金）に開催。

○ 第3回会合は、10月21日（水）に開催。

納税環境整備に関する専門家会合における議論の概要

第一回会合(10月7日開催)

- 民間ヒアリング
 - ・ 事業者における記帳の実態(日本商工会議所)
 - ・ 事業者のバックオフィスのデジタル化の状況(新経済連盟)

第二回会合(10月16日開催)

- 税務手続の電子化の現状
 - ・ e-Tax 利用状況、電子帳簿等保存制度の利用状況
 - ・ 電子申告及び電子帳簿等保存制度の更なる利用拡大に向けた課題
- 事業者の適正申告の確保、記帳水準の向上について
 - ・ 現在の記帳・帳簿等の制度、事業者の申告状況
 - ・ 適正申告の確保や記帳水準の向上に向けた課題

第三回会合(10月21日開催)

- 税務上の書面、押印、対面原則の見直し
- 課税実務を巡る環境変化への対応
 - ・ グローバル化・デジタル化を巡る執行上の課題